

第3回地球地図ナイロビセミナーの概要

(1)地球地図ナイロビセミナーの経緯

- 1) 地球地図の整備と活用の一層の推進を目的とするグローバルマッピング・パートナーシップ事業(平成14年度から開始、国際建設室所管事業)の一環として「地球地図ナイロビセミナー」の第1回セミナーを2002年8月にアフリカ諸国18カ国20名の研修生の参加を得て開催し、第2回セミナーを2003年8月に同17カ国19名で開催した。
- 2) 今回のセミナーはそれに引き続く形で国土交通省、地球地図国際運営委員会(ISCGM)及び開発のための資源地図地域センター(RCMRD)が主催してアフリカ地域の17カ国の国家地図作成機関の職員19名の参加を得てケニア・ナイロビにて実施した。4日間実施された同セミナーの成果は参加国の地球地図整備と国家空間データ基盤¹の構築に役立てられることが期待される。

(2)第3回地球地図ナイロビセミナーの概要

- 1) 名称：第3回地球地図ナイロビセミナー(以下セミナー)
- 2) 目的：地球地図整備の政策的・技術的事項、及び地球地図の応用を習得する。
- 3) 期日：2004年11月8日(月)～11日(木)
- 4) 場所：開発のための資源地図地域センター(RCMRD)(ケニア・ナイロビ)
- 5) 主催：国土交通省(MLIT)、地球地図国際運営委員会(ISCGM)、RCMRD
- 6) 後援：ケニア測量局(SOK)、ケニア測量地図学院(KISM)、国際協力事業団(JICA)
- 7) 参加者：アフリカ地域の国家地図作成機関の職員。参加国(abc順)は、ボツワナ、チャド、コンゴ、エチオピア、ケニア(3名)、マダガスカル、マラウィ、モーリシャス、モザンビーク、セイシェル、スーダン、スワジランド、タンザニア、ウガンダ、ザンビア、ザンジバル、ジンバブエ(計17カ国、計19名)
- 8) 講師：主催・後援機関のほか、国連アフリカ地域経済委員会(UNECA)、国連食糧農業機関(FAO)、国際アグロフォレストリー研究センター(ICRAF)、国際地図学会(ICA)、(DRSRS)、米国ESRI社のスタッフが講師として講義を実施。

¹GISの利用に必要な国土に関する基礎的な地理情報とそれを利用するための制度、技術、サービスの枠組み。現在各国でその構築が進められている。

- 9) カリキュラム(詳細は別添 1 参照) :
- 11 月 11 日 : 開会式、基調講演、パネルディスカッション
 - 11 月 12 日 : 国別発表、
 - 11 月 13 日 : 地球地図整備の政策的事項、地球地図の応用
 - 11 月 14 日 : 地球地図整備の技術的事項、まとめ
- 10) 関連行事 : セミナーと相前後してリモートセンシングに関する技術移転のための行事が以下の概要で開催された。これらの行事はセミナーと連携する形で日程、内容などを調整した上で実施に至っている。
- a) 第三国研修リモートセンシングコース : JICA の支援によりケニア測量地図学院が主催し、同学院で 2004 年 10 月 12 日から 11 月 15 日まで実施。リモートセンシングの総合的技術の習得が目的。研修生 15 名全員がセミナーも受講。
- 11) セミナーの実施を通じて概ね共有された論点
- a) セミナーでは、地球地図の整備及び国家空間データ基盤の構築についてまとめた事項が講義され、情報過疎に陥りがちなアフリカ地域からの参加者にとっては技術移転のよい機会となった。
 - b) 多くの機関と協力したことにより第三国研修リモートセンシングコースと連携して開催したことで、最大 5 週間に及ぶ技術移転の機会をナイロビで提供できたことは評価された。
 - c) 地球地図の全球整備を 2007 年までに実現するため、アフリカ地域も地球地図整備を進めていく重要性が確認された。今回のセミナー中に 2 カ国が地球地図プロジェクト参加申込書を提出した。一方、多くのセミナー参加国がすでに整備に着手している点が注目された
 - d) 地球地図整備は国家空間データ基盤の構築作業の一部でもあり並行して効果的に作業を進める必要が認識された。
 - e) 地球地図に関する政策的事項、応用的事項、技術的事項の三本柱のカリキュラムは概ねバランスがとれており評価された。
 - f) 地球地図整備に関して、アフリカを対象とした土地被覆情報整備事業である FAO の Africover のデータの活用、またその他の既存データの活用により、効率よく行うべき点が示唆された。
 - g) 今後のセミナーの方向性として、地球地図整備が進んでいない西アフリカ地域で実施すること、国内の地球地図の普及啓発を意図したプログラムの企画、また各国の地球地図整備の経験共有、情報交換を内容に含めることが考えられる。

別添 : 第 3 回地球地図セミナープログラム



Ministry of Land, Infrastructure and Transport



開発のための資源地図地域センター(RCMRD)

Kasarani Road, P.O. Box 18118 Nairobi, Kenya

2004年11月8～11日

第3回地球地図ナイロビセミナープログラム(実施記録)

2004年11月8日

09:30 登録

09:45 開会召集

JICA 専門家(ケニア測量局) 金子 純一

10:00 開会式

進行: JICA 専門家 金子 純一

地球地図国際運営委員会事務局長(代理) 岡谷 隆基

開発のための資源地図地域センター(RCMRD)所長(代理)

Erick S. Khamala

ケニア測量局長(代理) J. K. Mathenge

10:30 休憩

11:00 セミナー概要説明

進行: RCMRD Erick S. Khamala

グローバルマッピングパートナーシッププログラム(GMPP)チーフコーディネータ 坂部 真一

ネータ 坂部 真一

11:15 地球地図プロジェクトの最近の進展

地球地図プロジェクトの最近の進展: ISCGM 事務局 岡谷 隆基

Mapping Africa for Africa の活動状況: ICA 副会長 Haggai Nyapola

12:15 昼食

ICIPE カフェテリア、主催者による招待

14:00 パネルディスカッション: 空間データ基盤整備にむけたイニシアティブと活動

進行 : Benjamin Kumunga KISM 校長

パネラー :

RCMRD Erick S. Khamala

ICA 副会長 Haggai Nyapola

ICRAF Alex Awiti

GMPP チーフコーディネータ 坂部 真一

16 : 00 終了

2004 年 11 月 9 日

09 : 00 地球地図の利用

進行 : GMPP チーフコーディネータ 坂部 真一

森林管理のための GIS 活用事例 : ICRAF Alex Awiti

09 : 30 国別発表

セミナー参加者による国別発表が行われた。国別発表のテーマは、地球地図整備の状況、空間データ基盤構築の実施、及び地理情報分野における期待と課題である。このセッションは引き続きプログラムの議論の基礎となった。

発表時間 30 分の発表者は

Gami Ousman Adda チャド

Felicien Tseta Miti コンゴ

Andriampanana マダガスカル

発表時間 5 分の発表者は:

Phalaagae Andrew Thapedi ボツワナ

Degelo Sendabo Sariko エチオピア;

Pauline Gitimu, ケニア;

Mkandawire Salome マラウイ;

Daramsing モーリシャス;

Comboio Alberto Nota モザンビーク;

Kaendeke Florence ウガンダ;

Dave Roseline セイシェル;

Dlamin Esau Sicelo スワジランド;

D. N. Misana タンザニア;

Charles Pole ザンビア;

Al-Amin Omar Juma ザンジバル;

Mapika Patrick Farai ジンバブエ

12 : 00 昼食

14 : 00 継続

15 : 00 休憩

15 : 20 継続

16 : 00 終了

2004年11月10日

9 : 00 空間データ政策における地球地図の役割

進行 : RCMRD Muya Kamamia

アフリカにおける空間データ基盤の位置付け :

国連アフリカ経済委員会 CODI 事務局 Chukwedozie Ezigbalike

ケニアにおける空間データ基盤の構築 : ケニア測量局 Cesare N. Mbaria

10 : 30 休憩

11 : 00 空間データ政策における地球地図の役割(継続)

地球地図と空間データ基盤整備における RCMRD の役割 : RCMRD Vincent
Mtaroni

Africover とその利用 : 国連食糧農業機関 Gabriel Sanya

12 : 30 昼食

14 : 00 地球地図の利用

進行 : ケニア測量局 Cesare N. Mbaria

環境管理 : DRSRS J. Agatsiva

畜産管理の GIS 利用 : ICRAF Patrick Kariyuki

15 : 30 終了

2004年11月11日

09 : 00 地球地図整備の技術的方法と課題

進行：GMPP チーフコーディネータ 坂部 真一
衛星写真を活用した地図作成：国土地理院 柴田 光博
地球地図の技術的課題：ISCGM 事務局 岡谷 隆基
地球地図整備支援のための ESRI 社の取組：ESRI 社 Anak Agung Gde Agung

10：30 休憩

11：00 空間データ基盤整備

ケニアでの取り組み：ケニア測量局 Kombo Mwero

12：10 昼食

14：00 まとめ

セミナーの評価

修了証授与式

(セミナー参加者のうち、JICA 第三国研修参加者の修了証授与式は 11 月 12 日の第三国研修閉講式に実施された。)

14：15 RCMRD 施設見学

空間データ基盤構築に関連した RCMRD の活動：RCMRD 職員

16：00 セミナー修了

17：00 歓送会(サファリパークホテル)(GMPP の支援による参加者対象)